

事例 ● マスク作りで支え合い

分類：

居場所

アウトリーチ

相談

学習支援

見守り

住民主体

運営団体基本情報

● 運営団体名	山口手芸の会	● 代表者名	佐藤春枝	● 所在地	栗原市栗駒文字鍛冶屋119-30
● スタッフ構成	スタッフ3名 会員9名	● 運営財源	自主財源、栗原市社会福祉協議会助成金		
● 連絡先	TEL: 0228-45-2150 Mail: ka-kudo@kurihara-sfk.or.jp		● ホームページ (参考情報)		

新型コロナウイルス感染症拡大前の事業概要

● 対象者層	山口地区住民	● 活動頻度	毎週水曜日	● 活動場所	山口集会所
● 活動の形態	お茶っこ会 (高齢者サロン) ・介護予防	● 平均利用者数	10名	● 利用料金	年会費1,000円

【活動の特徴と新型コロナウイルス感染症対策】

具体的な活動	●新型コロナウイルス感染症拡大前	毎週水曜日定期的に行われ、くりはら元気アップ体操にも取り組み、健康維持に努めている。その後のお茶っこ会では手作りのおやつを囲み会話を楽しんだり、様々な制作活動に積極的に取り組んでいる。アイデアを出し合いながら介護予防につなげている。	● 活動経費	年会費@1000×10名 栗原市社会福祉協議会助成金 45,000円
	●新型コロナウイルス感染症拡大後の取組と工夫	新型コロナウイルスの影響により通常活動を自粛していたが、「誰かのために」と会員同士で声を掛け合い手作りマスクを制作。地域の高齢者宅へ配布しながら生活の様子を伺うなど安否確認を行ったり、施設等への配布も行った。実施の際は、感染症対策のため、少人数で短時間を心掛け、消毒やマスク着用の徹底にも気を付けた。	● その他、特記事項	★市町村基本情報 宮城県栗原市 県北部に位置し、市の面積が県内最大の約800平方km。自然と四季のうつろいが大変美しい高原都市。 人口 66,565人 高齢化率39.7% (2020.4末)
●取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りのマスクを配布することで大変喜ばれた。</li> <li>・自分たちの介護予防にもなった。</li> <li>・仲間との会話を楽しめた。</li> </ul>			